学校番号	1202

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新地理総合」（帝国書院）・「詳解現代地図　改訂版」（山川出版社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の学習が「縦軸」とすれば、地理の学習は「横軸」として、世界の諸地域の認識を深めます。
・世界の多様な生活文化を学ぶことで国際理解を図り、また、世界各地で起こっている地球的課題に対してどのような国際協力が必要かを考える科目です。
・地域の多様な文化や国際社会の課題にアプローチしていく上で役立つ「地理的な見方・考え方」を育みます。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・社会的事象の地理的な見方・考え方を身につけ、相互の関連性や課題を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代世界の地理的な諸事象・諸課題について、各地の自然環境や社会環境を踏まえ、地理的な見方・考え方から考察する。
【学びに向かう力、人間性等】
・現代世界の地理的な諸事象・諸課題について、国際社会に主体的に生きる国民としての自覚を持ち、自ら意欲的に調べ、考察する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識および技能	b：思考力、判断力、表現力等	c：学びに向かう力、人間性等
観点の趣旨	・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解できる。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身につける。	・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、地域などに着目して、概念などを活用しながら多面的・多角的に考察している。 ・地理的な課題の解決に向けて考察したりする力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・地域の多様な文化や国際社会の課題について、国際社会に主体的に生きる国民としての自覚を持ち、授業に意欲的に取り組む。 ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図と地理情報システム 結び付きを深める現代世界	・地球上の位置と私たちの生活 ・時差と私たちの生活 ・地球儀と地図 ・身の回りの地図 ・現代世界の国家 ・日本の位置や領域 ・国家間の結び付き ・貿易によって結び付く世界 ・さまざまな交通網の発達 ・世界を結ぶ通信網の発達 ・観光のグローバル化	a ・地球を球面として捉え、方位や距離について正しく認識し、季節や気候について理解している。 ・さまざまな図法で描かれた世界地図の特徴を理解している。 ・国家の領域に関する知識を身につけ、理解している。 ・世界の地域経済圏や国際連合に関する知識を身につけ、地球規模の地域的な結びつきについて理解している。 ・交通・通信・観光・貿易・物流を通した外国との結びつきの特徴や変化を捉え、日本と世界各国の結びつきを理解している。 b ・世界の２地点間の時差を求めることができる。 ・日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できる。 ・世界の地域経済圏や国際連合の視点から国際関係を整理・考察することができる。 ・交通や通信の発達による変化から、国家間・地域間の格差について考察している。 c ・さまざまな世界地図の理解に意欲的に取り組んでいる。 ・地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、興味・関心をもっている。 ・海洋国家である日本のメリット・デメリットを整理し、日本の未来像について考察している。 ・階級区分図などの統計地図を自らテーマを設定して作成し、多面的・多角的に考察している。	・確認テスト ・定期テスト	・作図・読図課題 ・定期テスト ・観察評価・提出物	観察評価・振り返りシート

	生活文化の多様性と国際理解	・大地形と人々の生活 ・変動帯と人々の生活 ・安定地域と人々の生活 ・河川が作る地形と人々の生活 ・海岸の地形と人々の生活 ・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 ・気温・降水と人々の生活 ・大気大循環と人々の生活 ・世界の植生と気候区分 ・熱帯の生活 ・乾燥帯の生活 ・温帯の生活 ・亜寒帯・寒帯の生活	a ・地図に関する基本的な知識を身につけ、日常生活における地図利用の有効性を理解している。 ・ケッペンの気候区分と植生分布の関連性を理解し、自然環境が人々の生活文化に深く関わり、また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。 ・世界の産業の特徴を捉え、分布や変化を概観することができる。 b ・さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し、使用目的に応じて適切に表現している。 ・地形や気候のなりたちについて、プレートテクトニクスや大気大循環、海洋分布などと関連づけながら、その成因と分布の特徴を世界的視野から考察できる。 ・地形や気候などの自然環境と人々の生活文化の関係性について、複数の資料を関連させながら説明することができる。 ・世界の産業の特徴を地域ごとに比較し、自然環境や生活文化との関連性を考察している。 ・アジア各地の事例地域の学習を通し、経済活動の発展とグローバル化を複数の資料から捉え、立地なども関連させながら多角的に考察し、まとめることができる。 c ・地図や地球儀ソフトを用いた作業学習に積極的に取り組み、自ら課題を設定して完成させている。 ・世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。 ・身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え、産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。	・確認テスト ・定期テスト	・作図・読図課題 ・定期テスト ・観察評価・提出物	観察評価・振り返りシート

2学期	生活文化の多様性と国際理解	・世界の言語と人々の生活文化 ・世界の宗教と人々の生活文化 ・人々をひきつける多様な自然環境 ・自然環境を生かした産業と人々の生活 ・モンスーンの影響を受けてきた人々の生活 ・気候を生かした農業と人々の生活 ・イスラームを中心とした生活文化 ・乾燥地域で暮らすムスリムの生活 ・変化するムスリムの生活 ・インドの歩みとヒンドゥー教 ・宗教や自然環境の影響を受けるインドの生活 ・変化するヒンドゥー教徒の生活 ・ヨーロッパ社会の影響が強い文化 ・大土地所有制が生み出した社会構造 ・外国資本による工業化と生活の変化 ・生活文化に残る旧宗主国の影響 ・植民地支配の影響が残るアフリカの産業 ・人々の生活の変化と経済成長への取り組み ・変化するロシアの産業 ・産業の発展を支えてきた移民の力 ・東アジアの経済成長とその歩み ・EU統合と人々の生活	a ・世界の言語・宗教の特徴を理解し、生活文化との関係を読み取ることができる。 ・現代世界における言語・宗教の変容を、主題図や写真などの資料から読み取ることができる。 ・世界の多様性と日本とのつながりを考え、異文化を尊重する態度の重要性を理解できる。 ・EU 統合の背景と産業や生活文化への影響、統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解している。 b ・世界の言語・宗教の空間的な分布とその要因を考察し、自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。 ・多文化共生社会に向けた事例について整理・考察し、まとめられている。 ・ヨーロッパ各国の国家としてのあり方の変容、EU と日本のつながりからグローバル化の功罪について考察している。 ・地域統合やグローバル化について、主題図や写真などの複数の資料を関連させて多面的に考察している。 c ・世界の言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて、積極的に調べようとしている。 ・多文化共生社会の実現方法について議論し、自分の意見をまとめている。 ・EU やアメリカの事例を通して、地域統合やグローバル化の課題について主体的に考察しようとしている。 ・グローバル化が自分の生活と繋がっていることを踏まえて、グローバル社会に対する自分なりの意見を持とうとしている。	・確認テスト ・定期テスト	・作図・読図課題 ・定期テスト ・観察評価・提出物	観察評価・振り返りシート

	地球的課題と国際協力	・多様な地球環境問題 ・熱帯林の破壊への対策 ・地球温暖化への対策 ・世界のエネルギー・鉱産資源 ・エネルギー利用の現状と課題 ・地域で異なるエネルギー問題への取り組み ・世界の人口 ・発展途上国と先進国の人口問題 ・地域で異なる人口問題への取り組み ・飢餓と飽食 ・地域で異なる食料問題への取り組み ・世界の都市の発達 ・発展途上国と先進国の都市・居住問題	a ・人口急増国や人口停滞国の事例を通して、各国の人口政策や諸問題について理解できる。 ・持続可能な発展のために、飢餓や飢饉などの食糧問題と人口問題を関連させて理解できる。 ・都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに、人口集中による都市問題について理解できる。 ・再生可能エネルギーや省エネルギー技術、鉱産資源のリサイクルについて理解できる。 ・地球規模でおこっている環境問題を構造的に理解できる。 b ・世界の人口問題の特徴や分布を、資料を比較・分類しながら整理し、考察できる。 ・途上国と先進国それぞれの都市問題について、その構造的要因を考察できる。 ・資源の持続可能な利活用を実現するため、化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し、考察できる。 ・環境問題と自分自身とのつながりを意識し、SDGs の因果関係も捉えながら具体的な取り組みを構想しようとしている。 c ・人口に関わる世界の諸問題について、その背景や構造を捉え、主体的に考察できる。 ・都市問題に関する資料を自ら収集・整理し、問いを立てながら意欲的に考察しようとしている。 ・エネルギー資源の利用をふまえ、エネルギーの在り方について意見を持つことができる。 ・環境問題に関する資料を主体的に収集し、具体的な取り組みを構想し、実際に行動に移そうとしている。	・確認テスト ・定期テスト	・作図・読図課題 ・定期テスト ・観察評価・提出物	観察評価・振り返りシート

3学期	自然環境と防災	・日本の地形 ・日本の気候 ・地震・津波による災害 ・火山の恵みと災害 ・さまざまな気象災害 ・気象災害への取り組み ・減災の取り組み ・被災地への支援	a ・日本列島の地形や気候の成り立ちと多様性について、主題図やグラフ、写真などの資料から理解できる。 ・自分の生活圏における防災や減災の取り組みについて、新旧地形図やハザードマップなどを読み取る技能を身につけている。 ・調査結果や統計ツール、新旧地形図やデジタル地図、各種資料などを活用して、地域の特徴を主題図やグラフなどで表現する技能を身につけている。 b ・世界の災害を日本と比較しながら捉え、人口密度や社会的基盤の脆弱性などの社会環境によっても被害が大きくなることを考察できる。 ・自らの生活圏の防災や減災について、新旧地形図やハザードマップ、GIS などを活用しながら考察し、具体的な課題と避難行動を構想することができる。 ・調査結果や統計ツール、新旧地形図やデジタル地図、各種資料などによって得られた結果を、多角的な視点から主題図やグラフにまとめ、考察している。 c ・日本の自然環境と災害のつながりについて関心を持ち、防災意識を高めることができる。 ・新旧地形図やハザードマップ、GISなどを活用し、自然災害について多面的に考察することに意欲的に取り組んでいる。 ・与えられた資料だけでなく、主体的かつ目的意識をもって資料やデータを収集し、考察しようと試みている。	・確認テスト ・定期テスト	・作図・読図課題 ・定期テスト ・観察評価・提出物	観察評価・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度